

北海道PTA連合会

221号



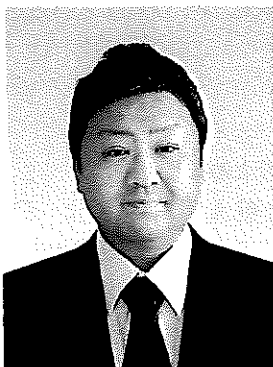
会 報

札幌市中央区北1条西3丁目 S T V時計台通ビル6階 / TEL(011)-251-6937 FAX(011)210-0929 <http://www.hokkaido-pta.jp>

第71回日本PTA北海道ブロック研究大会石狩管内・千歳大会の 一期一会から【知って、考えて、やってみて】

北海道PTA連合会

副会長 駒野圭史



第71回日本PTA北海道ブロック研究大会石狩管内・千歳大会（以下、石狩管内・千歳大会）は皆様のご協力のお陰をもちまして、大成功で幕を閉じる事ができました。参加いただいた皆様はご自身の学校に持ち帰り、早速実践いただいているのではないかとワクワクしています。

申し遅れました、私は函館の中学校でPTA会長、北海道PTA連合会で副会長を仰せつかっております駒野と申します。

私にとってのPTA活動とは!? それは、いち保護者が子ども達に経験させたいことを『仲間と相談して』『出来る時に出来る人が』子ども達が学校や家庭では経験できない事を経験させてあげる事だと思います。中には『よその子のためのPTA活動なんて時間をもったいない、我が子のためだけでいい』と仰る方もいます。ですが、これからの子どもの人生は自分一人で生きていけるほど甘くありません。集団生活で喜怒哀楽を学び、これを乗り越えて成長できます。ですから、我が子を取り巻く環境ごとレベルアップする必要があると思います。

最低限、人は『クウ・ネル・ダス』だけで生きていけます。ですが色々な経験を積むことで人間に幅ができると思っています。その幅を太く出来るのがPTA活動であると思います。PTA活動は家庭教育でもなければ学校教育でもありません。家でも学校でも経験できない社会教育の場なのですから。

私は世の中の子ども達に言いたい!!『何でもやれ! やるとやらないでは人間の幅が雲泥の差だ。失敗こそ人を成長させる。迷わずすゝめ!!』と。この思いを象徴しているのが石狩管内・千歳大会全体会の記念講演で植松さんが仰っていた『思うは招く、夢があればなんでもできる』という言葉であると思いました。子ども達は夢をたくさん持ち、未来に希望を持っています。この子ども達を支えるのがPTAであり、その色々な活動を横につなぐのが地区の連合会、そしてその活動を共有し更に進化した活動にする事ができるのが北海道PTA連合会だと思っています。

主語が子どもにないからPTA不要論なんて言葉が出てくるのです。北海道PTA連合会を道具として使って『色々な活動を知って』『自分たちの環境に合うように考えて』『子ども達の笑顔を想像しながら行動して』いく。子どもが笑顔になればそれだけで白飯三膳いけるっ!!

第71回日本PTA北海道ブロック研究大会石狩管内・千歳大会

石狩管内PTA連合会の主管により、10月19日（土）から2日間、特1・特2分科会の配信を含め、千歳市において会同形式で表記の研究大会が開催されました。

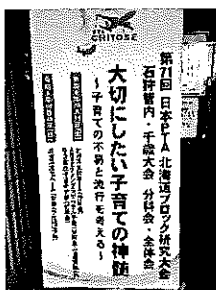
第1日目の開会式・分科会・情報交換会は北ガス文化ホール、千歳中学校、ANAクラウンプラザホテル千歳を会場に開催されました。分科会ではそれぞれのテーマに沿った提言がなされ、設定された協議の柱をもとに活発な実践交流と意見交換が行われました。この日に向けて日頃の活動をもとに提言いただいた単P・連Pの皆様感謝申し上げます。



第2日目のアトラクション・全体会・記念講演・閉会行事は北ガス文化ホールを会場に開催され、会同・配信を含め約700人が参加しました。「恵庭紅鴉」の演舞によるアトラクションののち、後藤一樹大会長の挨拶、ご来賓から祝辞をいただきました。記念講演では、株式会社植松電機代表取締役の植松努氏が「思うは招く、夢があればなんでもできる」の演題で講演いただきました。人の可能性を広げること、人の可能性が奪われない社会づくりについて話されました。

閉会行事では、大会旗が太田実行委員長から道プロ協議会へ返還され、後藤大会長より次期「宗谷管内・稚内大会」の出村実行委員長へと引き継がれ、次年度の宗谷管内・稚内大会で再会することを呼びかけました。

主管された石狩管内PTA連合会の皆様、全道の会員の学びの機会を盛大につくりあげていただいたことに心から御礼申し上げます。



石狩管内・千歳大会分科会提言概要

※各地区提言を事務局がまとめました

第1分科会 組織・運営 「多方面から見た組織運営のあり方」

提言1 「単P活動と区P活動多角的に見る組織運営」

札幌市南区PTA連合会

札幌市立澄川小学校PTA・札幌市立藻岩中学校PTA

コロナ禍を経て縮小傾向となった活動に対し、「今の形」での単P同士の「再結合」を目指して再起動するつもりで活動しています。

令和5年度テーマ「つながろう」 令和6年度テーマ「つながろうⅡ」

- ・南区PTA連合会 ～ 生活における制限緩和が進む中、縮小傾向にあるPTA活動を活性化させるため、「今としての繋がり方」を模索し再構築のスタートを目指す現在の形とコロナ前の活動の変化。PTAの存在意義が問われる中、活発な活動を続け、次世代に繋がる組織運営への提案とそれを下支えすべき存在の区Pの在り方について提言。参加された会員の活動の一助となれましたら幸い。
- ・澄川小学校PTA ～ PTA壁画プロジェクト2021
「コロナ禍でも、子供たちに達成感と思い出を！」をテーマに、グラウンドの壁に全校児童で花の絵を描くプロジェクトを行った。（令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰）
- ・藻岩中学校PTA ～ 大人の学び場
2023年9月より全6回の講座と「地球のステージ」という映像と音楽のライブステージを行った。



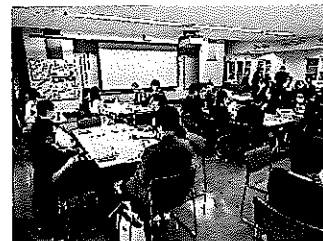
第2分科会 家庭教育 「子どもの五感を育む～『食べる』『遊ぶ』『話し合う』ことの大切さ～」

提言1 「子どもの五感を育む」～「食べる」「遊ぶ」「話し合う」ことの大切さ～

南空知PTA連合会 長沼町立長沼小学校PTA

長沼小学校 ～ 令和2年に長沼町内5校の小学校が統合し開校。PTA活動は3つの部と実行委員方式で活動をすすめている。CSとPTA地域連携ボランティア活動（長期休業中の学習支援、プール学習やスキー学習の支援など）をすすめている。

- 1 食べること～長沼町は国内有数の大豆生産地。学校給食も長沼の大豆で加工された味噌を使用。「みそ汁サミット」と銘打って「難しい食育ではなく身近なみそ汁を通して食の大切さを感じてもらおう」というテーマに設定し、実行委員を募って開催。
- 2 遊ぶこと～ウィンターカップ。統合前の各校イベントを、カタチを変えて復活させる。冬遊びを思いっきり楽しんで欲しい！雪像を作りたい！餅つきしたい！皆のやりたい！を叶えると笑顔。これこそがPTA活動の原点であり目的。
- 3 話し合うこと～教員の働き方改革や保護者負担を考えたときどうやったらできるかとことん話し合った。「やってみたい！」をカタチにして運営する喜び、参加者に喜んでもらえる喜びを共有できた。
- 4 今後～子どもが学校で学ぶように、保護者も地域と繋がりながら学ぶ活動を大切に。



第3分科会 学校支援 「保護者が主体的に活動するPTAプロジェクト活動」

提言1 「保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動」

釧路市PTA連合会 北海道教育大学附属釧路義務教育学校前期課程PTA

*PTA活動の目的達成のため、より効果的で持続可能な活動の在り方を探求。重要な要素のひとつとして「主体性」に辿り着いた。保護者が主体的に取り組むPTA活動について提言。

*フレームワークの整理～その中心要素は「コミュニケーション」「柔軟性」「協働性」「持続可能性」

「コミュニケーション」：ハイブリッド型を基本に、共通の目的達成のためのコミュニケーションをどう図っていくのが重要か。

「柔軟性」：意見を自由闊達に話せる雰囲気づくりや意見の共有、意見の反映も重要。

「協働性」：学校と保護者、保護者同士の連帯感を高める。意図的に協働性を重視した内容の取組。

「持続可能性」：多様な活動形態に柔軟に対応できる体制に変更の必要

*委員会制からプロジェクト型/エントリー制へ

約10のプロジェクトに保護者が自由にエントリーする形式で、開催時期や回数、活動内容も様々であり、参加制限、参加義務等もない。

保護者の興味関心、時間や都合に合わせて都度参加できるものであり、活動内容がしっかりと決まっているものから、集まって創造的に生み出す活動等、多種多様に設定した。

*主体性から広がるもの～今後に向けて～

保護者の主体性を高め、そこから広がる効果について学校評価等も活用しながら検証し、評価改善を繰り返す必要がある。



第4分科会 地域連携 「子育てを支える学校と地域のつながり」

提言1 「函館市立千代田小学校と地域の連携」

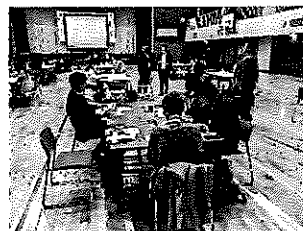
函館市PTA連合会 函館市立千代田小学校PTA

*千代田小学校～近くに五稜郭公園。学校・児童・保護者同士のつながりが親密。

◎地域と連携した様々な活動の紹介

- (1) 千代田応援隊の結成～黄色いバンダナを身につけ、児童の登校時の見守り活動を行っている。現在50名弱の応援隊が子どもたちの登下校を見守っている。募集は地域コーディネーターが行っている。子どもだけではなくPTAも町会・地域の方とのつながりが生まれている。
- (2) バザーの取り組み～毎年「友遊広場」と称するバザーを開催している。子どもたちも楽しみにしている。ゲームや体験コーナーを企画し実施。児童館や卒業生の保護者の方々も参加し盛り上げてくれている。PTA・地域が一体となり、子どもたちが楽しむ場をつくっている。
- (3) アフタースクール活動～PTA、地域の方、ボランティアの大学生が講師となり、放課後に子どもたちが楽しく学習できる環境を提供。年間で13回を予定し実施。保護者の同意のもと、パスポートをもたせ参加。
- (4) アフタースポーツ活動～地域の方が講師となり放課後に児童がスポーツを楽しめる環境の提供。年10回を予定。内容やルールを工夫し、低学年とのよい交流の場となっている。

*児童数・PTA数の減少の中、様々な工夫を模索しながら活動を続けてきた。地域の方との結びつきが強くなり大人同士も楽しい時間を共有。



第5分科会 情報 「PTAの活性化を図るICTの効果的な活用」

提言1 「ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動」

～PTAに参加してよかったと思えるように～

札幌市手稲区PTA連合会

- *コロナ禍での活動自粛～行事はできるだけ実施。希望参加制。ZOOMと対面の併用。
- *活動自粛からの模索～①親子で見つけた！私の手稲。②手稲探検隊。
- *ICTの活用～①動員要請をしない「希望制活動」へ。②集計、配付のICT化
- *会議で内容を議論し方法を考える。そして全員で熱意を持って実行すること。
- *今後、事業の内容を深化させていく。

提言2 「ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動」

～窮すれば通ず、原点回帰とICT活用で進化したPTA活動を～

札幌市手稲区PTA連合会 札幌市立手稲山口小学校PTA

- *コロナはICTの活用に限らず、活動内容の精査やPTA本来の目的を見つめ直す大きな転換点。
- *意思決定プロセスを全てオンラインで完結させる必要性。



- *PTA総会のWEB開催。ZOOMを使用したオンライン開催による運営委員会。
- *学級委員および係活動のボランティア化。
- *「やらなければならない」ではなく、「やれる方法を考える」。
- *「事務局で役立つパソコン講座」の開講。
- *単Pの活動を活性化させるお手伝いを行えるのが区Pの役割。
- *紙媒体の併用や対面での交流はICT一辺倒にならないためにも重要な要素。

特別第1分科会 中学生討論会

分科会テーマ SNSとの上手な付き合い方を考える

「子どもたちの思いから見える、より良いSNSとの関わり方について」

ZOOMによる配信

提言者 KDDIスマホ・ケータイ安全教室認定講師 浅見 洋 氏

*「デジタルネイティブ」世代～幼い頃からデジタルデバイスに親しんでいる。

SNS内での人間関係や、ネット上の問題が深刻ないじめや事件に発展する多くの課題。

*中学生のインターネット利用についての実態を知り、保護者として子どもにSNSとの付き合い方をどのように伝えていくか。中学生討論会を通して中学生の思いを受け止める。

*中学生の4人に3人以上はSNS等を利用している。利用時間の平均は4時間42分。年々増加。

*多くの家庭で子どものネット利用に関して保護者が関わりをもっている。

*トラブル回避のための3つのリスク

- ・ SNSリスク～個人情報の流出漏洩、肖像権の侵害、誹謗中傷
- ・ ネット依存～長時間利用、ゲーム障害
- ・ 出会い系～なりすまし、ネット出会い

*「与える」「与えない」といった単純な議論を超える。

*子どもたちのデジタルデバイス活用能力やネットリテラシーの育成は欠かすことができない。



特別第2分科会 地域課題

分科会テーマ 持続可能なPTA活動を目指して

ZOOMによる配信

提言1 「持続可能なPTA活動を目指して」

石狩管内PTA連合会 新篠津村立新篠津中学校PTA

*PTA活動の中で、「継続する部分」「改善を試みる部分」の模索。

*保護者の負担軽減を図り、柔軟で多様な参加方法を提供することが必要。

*活動の目的や意義といった取組のゴール地点を見失わずに議論を進めていく。

*視点～①活動の簡素化と効率化 ②持続可能な組織体制に向けての見直し ③デジタル化の推進

提言2 「持続可能なPTA活動を目指して」

石狩管内PTA連合会 当別町立西当別小学校PTA

*「学び合うPTA」「子どもに目を向けたPTA」を基本方針に掲げている。

*ICT活用による業務改善～google formによる活動部登録。一斉配信メールの活用。

*教材園・花壇整備への協力～地域の強みを生かした活動の実施。教育活動の応援団。

*みなこい祭り実施にむけて～長く続けていくために「やれる人とやれる規模で」の考えを。



第72回日本PTA全国研究大会川崎大会 報告

《大会スローガン ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう「縁」のカ～》

【大会1日目】

ウェルビーイングとは!? 探究心をくすぐるアウトプットな川崎大会1日目

第72回日本PTA全国研究大会川崎大会に参加しました。全国から約6000名が集まり、道P連からは8名が参加し、ウェルビーイングについて学んで来ました。1日目は様々な角度から7名の講師による講演、その都度隣席4名と意見交流をして多様な考え方を理解してより深く考えます。心に残ったのは『誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向けて』の講師、西野博之氏のお話です。「子どもは未熟者でも半人前でもない、日本の職人気質から生まれた言葉を子どもにも当てはめていること。」子どもの人格を尊重する大切さを学びました。ウェルビーイングとは良い状態以上に、自身が幸せ!と思う心です。大人も子どもも共に「最幸」になるためには、主体的で対話的で深く考える人に成長したいです。そのためにはPTAの役割も大きいと感じました。全国の会員さんとの意見交流は大変有意義な時間となりました。



【報告：北海道PTA連合会副会長 谷渕 友美】

【大会2日目】

研究大会2日目のテーマは、『自己肯定感を高める』

講演の先生方のお話では、こどものウェルビーイングには、「良好な親子関係」と「自己肯定感を高めること」が大事で、何よりも叱らずに「ほめること」が大切だとのことでした。ほめるのが苦手な日本人への具体策として、家族の写真を撮る・家族の幸せな写真を部屋に飾る「ほめ写」の紹介がありました。写真を見て、幸せな瞬間を思い出したり、その時の話をしたりすることで自己肯定感が高まるのだそうです。実際にPTAで行った活動では、家族写真を見ながら幸せそうに活動するこどもの姿を見て親の自己肯定感の高まりも実感できたと報告されました。

こどもが楽しみ、その姿を見て親が幸せを感じる、それがまさにウェルビーイング。その学びの機会、実践の機会を作ることができるのがPTAなんだと気づきをいただきました。

PTAは親子のウェルビーイングのための活動だと誇りを持って活動していきます。

【報告：北海道PTA連合会副会長 南川 達彦】

各種表彰 「おめでとうございます。」

(敬称略)

□ 令和6年度 三行詩コンクール

(掲載順は道P連の地区順)

今年の三行詩コンクールには、全道から小学生の部に1,347点、中学生の部に516点、一般の部に37点の合計1,900点の作品応募がありました。各地区PTA連合会で審査した後、北海道PTA連合会に推薦されてきた126点の作品を、北海道PTA連合会の役員・教師代表委員で構成する審査委員会で審査をし、各部門の優秀作品、日本PTA全国協議会に推薦する作品等を選考しました。日本PTA全国協議会には、下線の方々の作品が選考されました。

- | | | |
|-----------|-----------------------|-------------------|
| ○小学校低学年の部 | 浅野花月 (北広島市立西の里小) | 佐藤陽太郎 (東神楽町立東聖小) |
| | 高橋星凧 (中頓別町立中頓別小) | 坂見空桜 (北斗市立谷川小) |
| | 宮下莉緒 (根室市立おちいし義務教育学校) | |
| ○小学校中学年の部 | 徳中明莉 (北広島市立双葉小) | 中村健汰 (北広島市立双葉小) |
| | 高橋葵 (旭川市立共栄小) | 五十嵐琴律 (中頓別町立中頓別小) |
| | 坂見風羽 (北斗市立谷川小) | |
| ○小学校高学年の部 | 有波陸隼 (新篠津村立新篠津小) | 堀部杏菜 (東神楽町立東聖小) |
| | 小堀楓倉 (中富良野町立中富良野小) | 永井嶺生 (稚内市立稚内中央小) |
| | 高橋孝太郎 (幕別町立札内北小) | |
| ○中学生の部 | 門脇千奈 (石狩市立浜益中) | 佐藤まどか (小樽市立北陵中) |
| | 味澤謙辰 (函館市立戸倉中) | 石川心之介 (池田町立池田中) |
| | 福土陽遥 (根室市立光洋中) | |
| ○一般の部 | 海谷清香 (千歳市立信濃小) | 中山千佳 (旭川市立西御料地小) |
| | 細木珠香 (中富良野町立中富良野小) | 村田克明 (中頓別町立中頓別中) |
| | 味澤友恵 (函館市立高丘小) | |

□ 北海道PTA連合会会長表彰

〈団体の部〉・・・5PTA

- 小樽市立高島小学校PTA (小樽市PTA連合会)
- 函館市立湯川中学校PTA (函館市PTA連合会)
- 壮瞥町立壮瞥中学校PTA (胆振西部PTA連合会)
- 足寄町立足寄小学校PTA (十勝管内PTA連合会)
- 中標津町立中標津東小学校PTA (根室地方PTA連合会)

〈個人の部〉・・・6名

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ○林 亨 (上川北部PTA連合会) | ○橋本理恵 (旭川市PTA連合会) |
| ○京谷明希 (函館市PTA連合会) | ○若林徹 (胆振東部PTA連合会) |
| ○濱口憲太 (釧路市PTA連合会) | ○清水達也 (釧路管内PTA連合会) |

□ 第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞

- | | | |
|-----------------|---------------|-------|
| 〈日本PTA全国協議会会長賞〉 | 岩見沢市立緑中学校PTA | 「みどり」 |
| 〈佳作〉 | 旭川市立東五条小学校PTA | 「こだま」 |

□ 令和6年度「少年の主張」全道大会

〈優秀賞〉(北海道PTA連合会会長賞) 尾坂空音 (岩見沢市立明成中学校)

□ 第68回全道学校書道展入賞

〈北海道PTA連合会会長賞〉 東神楽町立東聖小学校 4年 多田 終羽

北海道PTA安全互助会制度の補償内容について

■以下の事故の場合に見舞金が出ます。事故が発生したら、速やかに事故報告をしましょう。

<園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償>学校の管理下外でのケガおよび死亡の見舞金

- ・登下校中やご自宅でのケガ
- ・スポーツ（少年団活動を含む）でのケガ
- ・自転車で転倒した際のケガ
- ・授業のない日の部活動中のケガ

※園児・児童・生徒傷害補償の場合は、学校管理下外での事故に限ります

<PTA（活動中）傷害補償>PTA主催行事で起きたケガおよび死亡の見舞金

- ・スポーツ行事や学年、学級レクでのケガ
- ・研修活動中のケガ

<賠償責任補償（PTA）>PTA活動中の賠償責任を補償します

- ・PTA主催のお祭りで、PTA役員の誘導ミスにより来場者がケガをした

<賠償責任補償（PTA+子ども24時間）>園児・児童・生徒の賠償責任を24時間補償します

- ・児童が自転車で通行人に衝突し、通行人がケガをした

■未加入校はぜひご加入をお願いします。毎月1日を始期としてご加入いただけます。

子どもたちの学校以外での活動やPTA行事に安心して参加できるように、補償内容等をご理解のうえ、ぜひご加入いただくようお願いいたします。

<会費>

【園児・児童・生徒（学校管理下外）傷害補償】	被保険者1人につき	400円（1年間）
【PTA（活動中）傷害補償】	1世帯につき	195円（1年間）
【賠償責任補償（PTA）】	被保険者1人につき	18円（1年間）
【賠償責任補償（PTA+子ども24時間）】	被保険者1人につき	400円（1年間）

新たに加入を希望される場合は、北海道PTA安全互助会までご連絡ください（☎011-221-7680）

北海道PTA連合会
令和7年度

小・中学生総合補償制度

（団体総合生活保険）

子どもたちの笑顔あふれる活発な日常をお守りする「もしも」の際の「備え」です！

◆各学校でご加入いただく北海道PTA安全互助会制度の上乗せ補償として、各ご家庭で任意加入いただける制度をご用意しています。

◆学校内外を問わず、様々な危険から24時間、お子さまをお守りします。

◆本制度は年1度の募集で、募集期間は令和7年4月1日～同年5月25日までです。

令和7年4月25日までの申込の場合 保険期間：令和7年5月1日午後4時～翌年4月1日午後4時

令和7年5月25日までの申込の場合 保険期間：令和7年6月1日午後4時～翌年4月1日午後4時

◆詳細な補償内容や申込手続き方法は、毎年4月に各学校で配布されるパンフレットをご確認ください。

【お問い合わせ先】

株式会社東京海上日動パートナーズ北海道 札幌支店
札幌市中央区北1条西3丁目 STV時計台通ビル6F
☎011-232-0701（受付時間/平日9時～17時）

【引受保険会社（担当課）】

東京海上日動火災保険株式会社札幌支店金融公務チーム
札幌市中央区大通西3-7 北洋大通センター17階
☎011-271-7285（受付時間/平日9時～17時）